

奥松島縄文村講演会

貝塚が語る

# 縄文の 魅力

—学史の貝塚を読みとく—



2026

2/1 (日)

13:00 - 16:30 (開場 12:30)

予約不要・聴講無料

会場 東松島市コミュニティセンター  
宮城県東松島市矢本字大溜 1-1

- 講演 I 貝塚はおもしろい！—学史に見る貝塚調査の成果と魅力—  
水ノ江 和同氏（同志社大学教授）
- II 縄文貝塚の魅力発信拠点をつくる・加曾利貝塚  
西野 雅人氏（千葉市埋蔵文化財調査センター 元所長）
- III 「国営発掘第1号」多くのものがたりを生んだ・吉胡貝塚  
増山 祐之氏（田原市博物館学芸員）
- IV 学史の遺跡に子どもが集まる・里浜貝塚  
菅原 弘樹（奥松島縄文村歴史資料館文化財専門官）

日本考古学のはじまり、大森貝塚と  
加曾利 × 吉胡 × 里浜。  
学史に残る貝塚の功績とこれから。

奥松島縄文村歴史資料館  
0225-88-3927  
宮城県東松島市宮戸字里 81-18  
Mail: jomon@city.higashimatsushima.miyanagi.jp



mail

## 奥松島縄文村講演会

貝塚が語る

# 縄文の魅力

—学史の貝塚を読みとく—

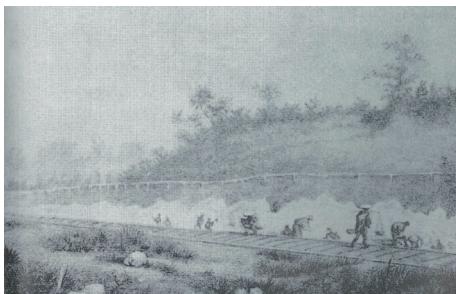
2026年2月1日(日) 13:00 ~ 16:30 (開場 12:30)

会場 東松島市コミュニティセンター

(宮城県東松島市矢本字大溜1-1)

タイムテーブル

- |       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 13:00 | 開会のあいさつ                          |
| 13:05 | 趣旨説明                             |
| 13:10 | 講演I 貝塚はおもしろい！—学史に見る貝塚調査の成果と魅力—   |
| 13:45 | 講演II 縄文貝塚の魅力発信拠点をつくる・加曾利貝塚       |
| 14:20 | 講演III 「国営発掘第1号」多くのものがたりを生んだ・吉胡貝塚 |
| 14:55 | 休憩                               |
| 15:05 | 講演IV 学史の遺跡に子どもが集まる・里浜貝塚          |
| 15:40 | 討論                               |
| 16:30 | 閉会のあいさつ                          |



報告書『大森貝塚』の口絵スケッチ(1879)

**大森貝塚** (東京都品川区・大田区)

- #エドワード・シルベスター・モース
- #日本考古学発祥の地
- #1955年国史跡



南貝塚の大発掘・長いトレンチと地形(1964)

**加曾利貝塚** (千葉県千葉市)

- #2つの大型環状貝塚
- #市民による貝塚の保存活動
- #1971年国史跡・2017年特別史跡



国営発掘調査参加者集合写真(1951)

**吉胡貝塚** (愛知県田原市)

- #国営発掘第1号
- #370体以上の人骨
- #1951年国史跡



里浜貝塚人骨の出土状況スケッチ(1919)

**里浜貝塚** (宮城県東松島市)

- #最初の層位学的発掘
- #縄文人の生業季節スケジュール
- #1995年国史跡

東松島市にある里浜貝塚は100年以上の発掘調査の歴史を持ち、学術的にも重要な遺物や遺構が多数出土している全国有数の縄文時代の貝塚として知られています。2025年は東松島市が市制施行20周年を迎える節目の年であり、里浜貝塚が国史跡に指定されてから30周年の記念の年でもあります。

そこで当館では、里浜貝塚とともに古くから発掘調査が実施され、日本の考古学研究の進展に大きく貢献した学史的に著名な3つの貝塚（千葉県加曾利貝塚・愛知県吉胡貝塚、里浜貝塚）にスポットをあてた講演会を開催します。長年にわたって貝塚の調査研究に携わってきた3名の専門家をお招きし、1877年の大森貝塚発掘に始まる貝塚調査の学史的な意義から最新の研究成果、史跡の整備や保存活用、さらには今後の貝塚研究や史跡活用のあり方など、貝塚が語る縄文の魅力をそれぞれご講演いただきます。

## 講師紹介



**水ノ江 和同氏**

同志社大学文学部  
文化史学科教授  
1962年福岡県生まれ。同志社大学大学院博士後期課程中退。博士（文化史学）。福岡県教育委員会、九州国立博物館、文化庁を経て現職。2014年日本考古学協会奨励賞受賞。主な業績に『縄文人は海を越えたか?』（朝日新聞出版2022）、『入門埋蔵文化財と考古学』（同成社2020）。



**西野 雅人氏**

千葉市埋蔵文化財調査センター元所長  
1962年千葉県生まれ。明治大学文学部卒業。千葉県文化財センター、千葉県教育委員会文化財課等を経て、2014年から千葉市埋蔵文化財調査センターに勤務し、昨年度末退職。千葉県内の貝塚の調査・研究に長く携わる。2018年尖石縄文文化賞受賞。主な業績に『史跡加曾利貝塚総括報告書』（2017）。



**増山 禎之氏**

田原市博物館学芸員  
1963年愛知県生まれ。愛知学院大学文学部卒業。田原市教育委員会にて渥美半島三大貝塚である吉胡貝塚・伊川津貝塚・保美貝塚の調査に携わり、田原町博物館（減田原市博物館）、吉胡貝塚史跡公園整備に携わる。2017年より田原市博物館勤務。主な業績に『渥美半島貝塚群I』（2024）、『渥美半島貝塚群II』（2025）。



**菅原 弘樹**

奥松島縄文村歴史資料館  
文化財専門官（元館長）  
1962年宮城県生まれ。宮城教育大学教育学部卒業。東北大大学院医学系研究科修士課程修了。宮城県教育委員会を経て、2000年より奥松島縄文村歴史資料館勤務。大学1年の時から里浜貝塚の発掘に参加。「さとはま縄文の里史跡公園」整備に携わる。主な業績に『里浜貝塚総括報告書』（2025）。

主催：奥松島縄文村歴史資料館

問 0225-88-3927